

〔資料〕 埼玉大学・埼玉県共同プロジェクト

「人口減少に対応した地域づくり」意識調査結果

埼玉県企画財政部と埼玉大学社会調査研究センターは、2014(平成26)年10月、「人口急減・超高齢社会における政策研究に必要な調査研究に関する覚書」を締結し、2017(平成29)年3月までの2年6ヶ月にわたる共同研究に取り組むこととなった。覚書では、研究の内容について、以下の3点を掲げている。(1)県及び大学が協議の上定める県内の特定地域において、客観的証拠に基づく人口基礎調査及び地域間比較調査を実施する。(2)上記調査による客観的証拠(数値・データ)に基づき、特定地域間並びに特定地域及び特定地域以外の地域間の比較及び検証を行う。(3)日本創成会議・人口減少問題検討分科会により「消滅可能性都市」と予測された県内の自治体及びその他地域における人口減少の傾向及び要因を整理する。

平成26年度は、27年度に実施が予定される本格的な比較調査の準備段階として、県内の2つの自治体(鳩山町・小川町)において予備的な調査(住民意識調査)を実施した。予備調査の方法および回収結果の概要は、以下の通りである。

調査のタイトル：人口減少に対応した地域づくりに関する意識調査

対象地域：比企郡鳩山町、同小川町

対象者：2町の有権者各500名(計1,000名)

調査方法：郵送調査法

調査時期：2014年12月(12月3日～19日)

有効回収数(率)：鳩山町 355/500(71%)

小川町 324/500(65%)

合計 679/1,000(68%)

今回の予備調査では、師走の多忙な時期に、突然の総選挙が重なるというあわただしい状況にもかかわらず、高回収率を得ることができた。ご回答いただいた両町民のみなさまに、あらためて感謝を申し上げる次第である。あわせて、町の広報紙などで調査の周知と回答への協力を呼びかけてくださった鳩山町役場、小川町役場の関係者の方々にも御礼を申し上げたい。

平成27年度は、予備調査結果の分析に基づき、鳩山、小川両町に、秩父市、川越市、本庄市、戸田市、幸手市の5市を加えた県下7市町で、5月に住民意識調査を実施する予定である。調査に際しては、関係各市町のご協力、並びに、住民のみなさまのご理解をお願いする次第である。

なお、予備調査の結果に関しては、2015年2月6日(金)にテレビ埼玉の定時ニュース(11:55～および17:45～)とウィークエンド930(21:30～)で、計3回にわたって報道された。以下に、両町における調査票および単純集計結果、結果に関する若干のまとめを掲載する。

・意識調査結果の概観

アンケート調査票の内容は、大きく7つのパートに分けることができる。以下、パートごとに、小川町、鳩山町両町の共通質問事項の結果を概観する。

1. 危機と対策

パート1は、Q1～5で、人口減少についての認識とその対策に関する問である。具体的には、Q1とQ2で人口減少に対する悲観・楽観の度合いとQ3でその解決のための政策に対する期待度、Q4で地域の活性化においてリーダーシップを発揮すべき主体の特定、Q5で当該地域の人口減少対策にとって重要な政策を問うている。

両町とも、人口減少に悲観する割合は高い。また、人口減少を抑制するための国の地方創生に期待していない人の割合が6割、他方、4割の人が国の地方創生に期待している。地方の活性化については、国よりも地元の自治体がリーダーシップをとることを期待している。ただ、そのための具体的な方策については、小川町では企業誘致と地元産業の復興という経済政策、鳩山町では企業誘致と公共交通網の整備という経済政策と交通政策を、それぞれ重視している。近隣自治体との連携は両町ともに重視している。

2. 生活上の認識

パート2は、Q6が、ふだんの生活の中での行動や考え方に関する問である。具体的には、A 幸せ、B 健康、C 生活、D 仕事や役割、E 住まい、F 近所づきあい、J 物価、H 自然環境、I 交通事情、J 医療施設、K 祭りや催しの11項目に対する満足等の程度を聞いている。

上記の11項目のうちでは、両町ともに「A 幸せ」、「C 生活」、「F 近所づきあい」、「G 物価」、「H 自然環境」について満足する人の割合は高い。

これに対して、「B 健康」、「D 仕事や役割」、「E 住まい」、「I 交通事情」、「J 医療施設」、「K 祭りや催し」に関しては、両町で開きがある。健康であると思っている人の割合は小川町の方が高い。仕事や役割に満足している人の割合、住まいに満足している人の割合は鳩山町の方が高い。一方、交通の便に不満を感じている人の割合、医療施設に不満を感じている人の割合は鳩山町の方が高い。祭りや催しに不満を感じている人の割合も鳩山町の方が高い。

3. 価値観

パート3は、Q7が、ふだんの生活の中で価値観の対立する事項に関する問である。具体的には、A「仕事」と「余暇」、B「物質的な豊かさ」と「精神的な豊かさ」、C「仕事」と「子育て」、D「都会暮らし」と「田舎暮らし」、E 住むなら「日本人だけ」と「外国人も一緒に」、F 仕事をするなら「男性」と「女性」、G 結婚するなら「恋愛」と「見合い」、H「片働き」と「共働き」、I 家事をこなすなら「妻」と「夫」の9項目についての重視度を問うている。

両町ともに、C「仕事」と「子育て」、E 住むなら「日本人だけ」と「外国人も一緒に」、F

仕事をするなら「男性」と「女性」、G 結婚するなら「恋愛」と「見合い」、I 家事をこなすなら「妻」と「夫」の5項目は、「どちらでもない」の割合が最も高い。「どちらでもない」に次いで、余暇、精神的な豊かさ、子育て、田舎暮らし、仕事をするなら男性、結婚をするなら恋愛などを重視している。C「仕事」と「子育て」、I 家事をこなすなら「妻」と「夫」の2つは、いずれも「どちらでもない」の割合が最も高い。C、I、Hは地理的条件、就業条件と強い関係性のあることが窺われる。また、住むなら日本人、外国人と一緒に、どちらでもないがそれぞれ3割程度に分かれていることも共通している。

また、共働きは小川町で43.1%、鳩山町で33.0%と、小川町の方が1割ほど高い。家事をこなすなら妻とする割合では、「どちらかといえば妻」が31.0%、37.6%と、鳩山町の方が高い。

4. 出身と居住の関係

パート4は、Q8～11（Q12は省略）で、本人の出身地と居住との関係に関する問である。具体的には、Q8で出身地、Q9で居住継続の意向とその理由、Q10で居住年数、Q11で居住地と出生地の関係を確認している。

出身地は、小川町は地元の埼玉県64.4%、鳩山町は埼玉県45.8%と東京都16.4%である。居住継続の意向では、両町ともに約7割の人が住み続けることを希望しており、その理由として、自然環境が良いことと家族や親戚がいることを挙げている。しかし、その一方で、住み続けるか転居するか迷っている人やほかの場所に転居したい人も2割強おり、その理由として、小川町の場合は交通の便が悪いことと仕事がないこと、鳩山町の場合は交通の便が悪いことと病院が遠いことをそれぞれ挙げている。

居住年数では、小川町は20年以上～30年未満が27.9%と最も高く、次いで30年以上～40年未満が19.5%、鳩山町は30年以上～40年未満が30.2%と最も高く、次いで20年以上～30年未満が28.2%で、鳩山町の方が比較的永く住んでいる人の割合が高い。

出生地か、転居してきたかでは、小川町の場合、生まれたときから今の場所に住み続けている人が3割弱で、引っ越して来た人が7割弱、鳩山町の場合、同じく1割強、8割となっている。転居の理由として、両町ともに「その他」が最も多く、次に転職や人事異動が10.9%、「病院が近い」が10.4%、「代々の家や墓を守る」が10.0%と続く。鳩山町の場合には出産や子育てが21.3%、「治安がよい」が16.0%となっている。

5. 結婚と子育て

パート5は、Q13～19で、結婚と子育てに関する問である。具体的には、Q13～14で地域内での男女の一般的な結婚年齢、Q15で結婚の契機（恋愛か、見合いか）、Q16で出会いの場、Q17で出産後の女性、Q18で男性の育児休暇取得の方向、Q19で少子化抑制策を確認している。

地域の結婚年齢は、「25歳以上、30歳未満」が両町ともに男性で4割、女性で5割強、「30歳以上、35歳未満」でも男性が4割弱、女性が2割と、両町とも同様で、女性のほうが早めに結婚する傾向にある。恋愛か、見合いかでは、両町ともに恋愛による結婚が約

7割を占めている。男女の出会いの場では、両町とも「職場関係」が最も高い。

出産後の女性の姿では、小川町が出産後も働くこと(47.1%)の方が子育てに専念(35.6%)する割合よりも高いのに対して、鳩山町では出産後も働く方の割合(42.7%)と子育てに専念する割合(39.0%)とが拮抗している。

男性の育児休暇の取得では、「育児休暇をとったほうがよい」が両町ともに5割、「仕事に専念したほうがよい」が3割強と、同じ傾向を示している。

効果的な少子化対策では、1位が「出産費用の給付」2位が「地域や職場などでの保育施設の増設」、3位が「育児休業取得後の正常な職場復帰の保障」、4位では小川町が「2人目の子どもの学費・保険料など半額給付」で、鳩山町が「3人以上の子どもの学費・保険料など全額給付」、5位が「育児休業中の給与保障」で、両町はほぼ同じ傾向にある。

6. 移動

パート6は、Q20でふだんの生活での移動に関する問である。具体的には、最寄りの駅、買い物、通院、福祉施設への移動手段を確認している。

ふだんの移動手段では、両町とも自動車が最も高く、自動車に次いで小川町では徒歩、鳩山町ではバスの順となっている。両町ともに、Q6I(交通事情)の満足度の低さ、Q9B(転居希望の理由)の交通の便の悪さに対する割合の高さが、自動車依存を裏付けているが、鳩山町の方がその依存傾向が強い。

7. 属性

パート7は、F1～9で回答者の属性に関する問である。具体的には、F1で男女の別、F2で年齢の別、F3で最終学歴、F4で職業、F5で住まいの所有形態、F6で年収、F7で結婚の有無とその時期と結婚の契機、F8で子どもの数と通学時間、F9で家族構成を確認している。

F1の男女の割合(回答者ベース)は、小川町で男性が48.0%、女性が51.4%、鳩山町で男性が41.5%、女性が56.2%と、両町ともに女性の回答割合が高い。

F2の年齢別の割合は、小川町では50代と60代の割合が高く、両者で半数を占めている。鳩山町では70代と80代の割合が高く、両者で半数を占めている。

F3の最終学歴では、小川町で高校が43.3%、大学が18.9%、鳩山町で高校が36.2%、大学が25.4%となっている。

F4の職業は、小川町で「正社員、正職員」が22.6%と最も高く、「パート、アルバイト」が21.7%、「専業主婦」が18.3%となっており、「仕事をしていない」も19.5%を占めている。鳩山町では「専業主婦」が23.4%と最も高く、「パート、アルバイト」が20.3%、「正社員、正職員」が14.4%となっており、「仕事をしていない」は24.9%となっている。有業者の1週間あたりの労働時間は、「40～60時間」は小川町が50.3%、鳩山町で34.8%と最も高く、次いで「20～40時間」がそれぞれ22.7%、30.2%を占めている。

F5の住まいの所有形態では、一戸建ての持ち家が小川町で85.1%、鳩山町で93.5%と、ほとんどが持ち家となっている。

F6の年収は、「300万円以上、500万円未満」が最も多く、小川町で28.8%、鳩山町で22.6%、次いで「200万円以上、300万円未満」が両町ともに22.0%、「200万円未満」が18.0%、17.8%と、上位3つで両町とも7割を占めている。

F7の結婚の有無は、既婚者が小川町で68.4%、鳩山町で70.9%、未婚者はそれぞれ17.0%、11.6%となっている。既婚者の結婚時期では、「20代後半」が小川町で46.9%、鳩山町で44.7%、「20代前半」34.9%、37.6%となっている。両町ともに既婚者の7割が恋愛で、見合いは3割となっている。一方、未婚の理由では、「出会いの場や機会が少ない」で小川町が34.5%、鳩山町が29.3%と最も高く、次いで「結婚生活に十分な年収ではない」で25.5%、22.0%、次いで小川町で「結婚するつもりはない」が20.0%、鳩山町で「結婚する年齢ではない」が19.5%で、上位3つで小川町が8割、鳩山町が7割を占める。

F8の子どもの数では、「2人」が小川町で36.8%、鳩山町で47.5%と最も高く、次いで「3人」が19.8%、15.0%となっている。他方、「いない」は小川町で19.8%、鳩山町で14.1%となっている。

F9の家族構成では、「二世帯同居」で小川町が39.3%、鳩山町が37.0%と最も高く、次いで「夫婦のみ」で30.0%、34.2%となっている。両町ともに、二世帯同居か、夫婦のみかのいずれかが大半を占めている。

(文責：齋藤 友之)

埼玉大学・埼玉県共同研究プロジェクト
「人口減少に対応した地域づくり」(意識調査)

整理番号 (小川町)
(323/500) 65%

突然の調査のお願いになり、恐縮に存じます。

埼玉大学社会調査研究センターと埼玉県は、少子高齢化社会の加速による人口急減に対応するため、12月に小川町内のみなさまを対象に調査を実施します。人口減少と地方の再生のための政策を立案するために、必要なデータをこの調査で集めることが目的です。

小川町内の選挙人名簿から、無作為に500人の方を抽出したところ、今回はあなた様にご協力をお願いすることになりました。お答えは、統計的に処理して「〇〇に賛成△△%」といった形で分析しますので、お名前や具体的な回答内容が外部に出ることはありません。

この調査には、ご本人がお答えください。右上にある「整理番号」は、調査票が返送されたかどうかの確認や集計を匿名で行うためのものです。お名前を書きいただく必要はありません。

誠に恐縮ですが、12月19日(金)までに、同封の封筒にてご返送くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ先 → 埼玉大学社会調査研究センター(担当・菱山=ひしやま)
Tel & Fax : 048-858-3120 e-mail: ssrc@gr.saitama-u.ac.jp

[2014年12月]

ご回答は、特に指定がなければ、選択肢番号を1つだけ選んでマル(O)をつけてください。

Q1. 将来、日本の人口が減少し続けるといわれていることについて、あなたは、楽観していますか。それとも悲観していますか。

1	2	3	4	5	6
かなり楽観	やや楽観	いどちえならとも	やや悲観	かなり悲観	その他
2.5%	7.1%	14.6%	32.8%	41.8%	0.6%

Q2. では、あなたがいま住んでいる地域の将来については、どうですか。

1	2	3	4	5	6
かなり楽観	やや楽観	いどちえならとも	やや悲観	かなり悲観	その他
1.5%	3.7%	16.7%	33.4%	43.0%	0.9%

Q3. 国は、地方の活性化を目指す「地方創生」を重要政策に掲げています。あなたは、こうした国の政策にどの程度期待していますか。

1. 大いに期待している	11.8%
2. ある程度期待している	28.5%
3. あまり期待していない	44.6%
4. まったく期待していない	13.0%
5. その他	1.2%

Q4. 地方の活性化のためには、国と地方自治体と住民および企業の協力が必要ですが、あなたは、これらのどこが一番問題意識をもってリーダーシップを発揮すべきだと思いますか。(マルは1つだけ付ける)

1. 国がリーダーシップをとる	20.1%
2. 地方の自治体がリーダーシップをとる	58.5%
3. 住民がリーダーシップをとる	12.4%
4. 企業がリーダーシップをとる	5.3%
5. その他	2.5%

Q5. あなたのお住いの地域の人口が減り続けるのを抑えるためには、どのような対策が一番重要だと思いますか。(マルは1つだけ付ける)

1. 産業を誘致して雇用を増やす	33.4%
2. 住宅の整備をして移住を増やす	1.9%
3. 大学や研究機関と協業する学園都市を目指す	1.2%
4. 公共交通機関の整備充実を目指す	7.7%
5. 機能を集中させた「小さな町」で効率化させる	5.6%
6. 地元の産業を見直し復興させる	15.2%
7. 農業の企業化を進め若手の職場を増やす	9.6%
8. 歴史・文化などの魅力を宣伝する	3.7%
9. 近隣の自治体と協力して地域の魅力を高める	13.6%
10. わからない	5.0%

次のページの Q6 に進んでください



Q6. あなたのふだんの生活の中での行動や考えについて、次のそれぞれについてどの程度あてはまるかお答えください。(A~Kについて、それぞれ1つずつマルを付ける)

A 私はいま「幸せ」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
35.6%	37.5%	13.6%	8.7%	3.4%

B 私はいま「健康」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
39.9%	30.0%	10.5%	11.8%	6.2%

C 私はいまの生活に「満足」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
22.3%	38.7%	15.2%	14.9%	7.4%

D 私はいまの仕事や役割に「満足」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
22.6%	24.8%	28.5%	13.3%	6.8%

E 私はいまの住まいに「満足」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
32.2%	30.0%	16.7%	12.7%	6.5%

F 私はいまの近所づきあいに「満足」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
23.5%	27.6%	28.8%	12.7%	5.9%

G 私は住んでいる地域の物価に「満足」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
9.0%	23.2%	31.6%	25.7%	8.0%

H 私は住んでいる地域の自然環境に「満足」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
45.2%	31.9%	13.0%	6.5%	1.5%

I 私は住んでいる地域の交通事情に「満足」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
10.2%	19.2%	18.6%	30.7%	19.8%

J 私は住んでいる地域の医療施設に「満足」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
12.7%	29.7%	20.7%	24.1%	11.1%

K 私は住んでいる地域の祭りや催しごとの数や内容に「満足」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
11.5%	20.7%	45.8%	16.1%	4.3%

Q7. あなたは、次の事柄について左側の項目と右側の項目のどちらをより重視したいですか。(A~Iについて、それぞれ1つずつマルを付ける)

A 「仕事」と「余暇」では、どちらを重視したいですか。

1	2	3	4	5
仕事	どちらかと いえば仕事	どちらでも ない	どちらかと いえば余暇	余暇
5.9%	22.9%	25.1%	29.4%	13.3%

B 「物質的な豊かさ」と「精神的な豊かさ」では、どちらを重視したいですか。

1	2	3	4	5
物質的な 豊かさ	どちらかと いえば物質 的な豊かさ	どちらでも ない	どちらかと いえば精神 的な豊かさ	精神的な 豊かさ
3.4%	12.1%	22.9%	39.6%	19.2%

C 「仕事」と「子育て」では、どちらを重視したいですか。

1	2	3	4	5
仕事	どちらかと いえば仕事	どちらでも ない	どちらかと いえば子育て	子育て
4.3%	12.1%	38.7%	27.9%	11.8%

D 「都会暮らし」と「田舎暮らし」では、どちらを重視したいですか。

1	2	3	4	5
都会 暮らし	どちらかと いえば都会 暮らし	どちらでも ない	どちらかと いえば田舎 暮らし	田舎 暮らし
1.9%	13.9%	19.8%	39.3%	22.3%

E 「日本人だけ」と「外国人も一緒に」暮らす社会では、どちらを重視したいですか。

1	2	3	4	5
日本人 だけ	どちらかと いえば日本 人だけ	どちらでも ない	どちらかと いえば外国 人も一緒	外国人 も一緒
5.9%	23.8%	39.3%	21.4%	7.4%

F 一緒に仕事をするなら「男性」と「女性」の、どちらを重視したいですか。

1	2	3	4	5
男性	どちらかと いえば男性	どちらでも ない	どちらかと いえば女性	女性
5.3%	16.7%	60.1%	12.1%	3.4%

G 結婚をするなら「恋愛」と「見合い」では、どちらを重視したいですか。

1	2	3	4	5
恋愛	どちらかと いえば恋愛	どちらでも ない	どちらかと いえば見合い	見合い
29.4%	30.3%	33.7%	1.9%	1.5%

H 仕事は夫婦どちらか一方の「片働き」と夫婦「共働き」とでは、どちらを重視したいですか。

1	2	3	4	5
片働き	どちらかと いえば片働き	どちらでも ない	どちらかと いえば共働き	共働き
6.8%	18.6%	29.1%	31.3%	11.8%

I 多くの家事をこなすには、「妻」と「夫」のどちらの働きを重視したいですか。

1	2	3	4	5
妻	どちらかと いえば妻	どちらでも ない	どちらかと いえば夫	夫
15.5%	31.0%	38.7%	8.0%	4.3%

Q8. あなたの出身地はどこですか。1つだけ選んで番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|---------|--------|--------|---------|---------|
| 01. 北海道 | 02. 青森 | 03. 岩手 | 04. 宮城 | 05. 秋田 |
| 06. 山形 | 07. 福島 | 08. 茨城 | 09. 栃木 | 10. 群馬 |
| 11. 埼玉 | 12. 千葉 | 13. 東京 | 14. 神奈川 | 15. 新潟 |
| 16. 富山 | 17. 石川 | 18. 福井 | 19. 山梨 | 20. 長野 |
| 21. 岐阜 | 22. 静岡 | 23. 愛知 | 24. 三重 | 25. 滋賀 |
| 26. 京都 | 27. 大阪 | 28. 兵庫 | 29. 奈良 | 30. 和歌山 |
| 31. 鳥取 | 32. 島根 | 33. 岡山 | 34. 広島 | 35. 山口 |
| 36. 徳島 | 37. 香川 | 38. 愛媛 | 39. 高知 | 40. 福岡 |
| 41. 佐賀 | 42. 長崎 | 43. 熊本 | 44. 大分 | 45. 宮崎 |
| 46. 鹿児島 | 47. 沖縄 | | | |

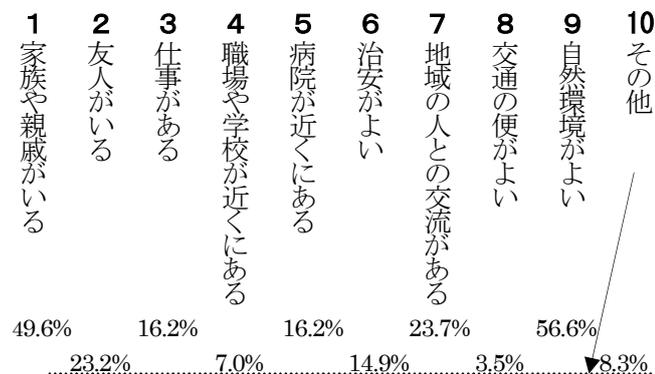
Q9. あなたは、いまの場所に住み続けたいですか。

1. いまの場所に住み続けたい 70.6%
2. 住み続けるか転居するか迷っている 10.5%
3. ほかの場所に転居したい 13.0%
4. その他 3.4%

4を選んだ方次のページのQ10へ進む

「1. いまの場所に住み続けたい」方への質問

Q9A. どうしてそう思いますか。あなたのお気持ちに一番近いものを3つまで選んでください。



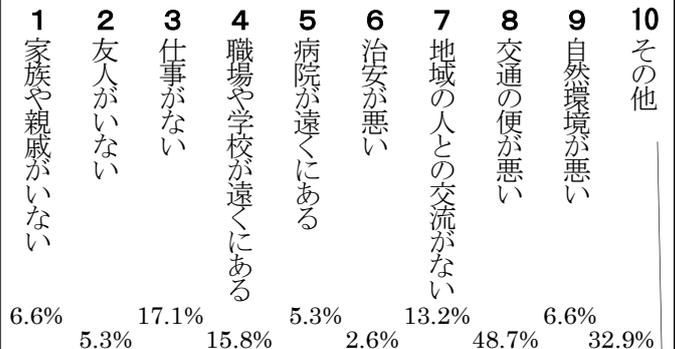
「その他」は何か具体的に教えてください

マルを付けたら次のページのQ10へ進んでください



2あるいは3と答えた方への質問

Q9B1. どうしてそう思いますか。あなたのお気持ちに一番近いものを3つまで選んでください。



「その他」は何か具体的に教えてください

Q9B2. ほかの場所に移り住む場合、どちらに転居したいと思っていますか。

1. 小川町内の市街地（駅、役場、病院、商店などの近く） 10.5%
2. 小川町内の市街地ではないところ 7.9%
3. 東松山市 1.3%
4. 川越市 15.8%
5. 東京都 21.1%
6. 上記以外のところ 36.8%

→具体的に教えてください

Q9B3. 小川町ではなく、ほかの所に転居したい理由を教えてください。

→理由を教えてください

次のページのQ10へ進んでください

Q10. ところで、あなたは、いまの場所に住み続けて何年目ですか。

1. 2年未満 1.9%
2. 2年以上～5年未満 5.9%
3. 5年以上～10年未満 4.3%
4. 10年以上～20年未満 10.2%
5. 20年以上～30年未満 27.9%
6. 30年以上～40年未満 19.5%
7. 40年以上～50年未満 9.9%
8. 50年以上 18.9%

Q11. あなたは、生まれたときからいまの場所に住み続けていますか、それとも途中でいまの場所に引っ越して来ましたか。

1を選んだ方はQ12へ

1. 生まれたときから今の場所に住み続けている 26.6%
2. 途中でいまの場所に引っ越して来た 68.4%

「2. 途中で…引っ越して来た」方への質問

Q11A. あなたが、いまの場所に引っ越すことになった理由は何ですか。あてはまるものがあればいくつでもマルを付けてください。

1. 代々の家や墓を守る 10.0%
2. 親の介護 8.1%
3. 転職や人事異動 10.9%
4. 出産や子育て 9.0%
5. 進学や就職 3.2%
6. 職場が近い 7.2%
7. 学校が近い 5.9%
8. 病院が近い 10.4%
9. 買い物が便利 5.4%
10. 交通の便がよい 5.0%
11. 保育・教育サービスがよい 0.5%
12. 福祉・介護サービスがよい 1.8%
13. 治安がよい 8.1%
14. 防災によい 3.6%
15. 歴史・文化・芸術施設がある 2.3%
16. 近所付き合いがしやすい 5.0%
17. 近所に干渉されない 4.5%
18. 地域特有の祭りや催しごとがある 1.8%
19. 大学や企業との交流がある ー%(回答無)
20. その他 48.9%

続けて下の質問にもお答えください

Q11B. どちらから引っ越して来られましたか。

①都道府県名

②市区町村名

Q12. お宅にお住まいの方のうち、仕事に就かれているすべての方の通勤手段・通勤時間と職場を教えてください。

続柄 本人,配偶者, 子供,父など	通勤手段 徒歩,自転 車,バス, 電車,車	通勤時間 (何分?)	職場のあるところ (例:埼玉県坂戸市)
本人			

Q13. あなたのお住まいの地域では、「男性」は何歳ぐらいで結婚される方が多いですか。あなたの見聞きした範囲でお答えいただければ結構です。

1. 20歳未満 ー%(回答無)
2. 20歳以上、25歳未満 3.7%
3. 25歳以上、30歳未満 43.3%
4. 30歳以上、35歳未満 35.0%
5. 35歳以上、40歳未満 6.5%
6. 40歳以上 1.9%

Q14. では、「女性」は何歳ぐらいで結婚される方が多いですか。あなたの見聞きした範囲でお答えいただければ結構です。

1. 20歳未満 0.6%
2. 20歳以上、25歳未満 12.4%
3. 25歳以上、30歳未満 54.8%
4. 30歳以上、35歳未満 20.4%
5. 35歳以上、40歳未満 3.4%
6. 40歳以上 0.3%

Q15. では、あなたの地域では、恋愛結婚される方が多いですか。それとも、見合い結婚される方が多いですか。あなたの見聞きした範囲でお答えいただければ結構です。

1. ほとんど恋愛結婚 27.9%
2. どちらかといえば恋愛結婚が多い 37.8%
3. どちらともいえない 23.5%
4. どちらかといえば見合い結婚が多い 1.9%
5. ほとんど見合い結婚 0.3%
6. その他 3.4%

Q16. あなたが住んでいる地域では、男女が出合う一番のきっかけは次のうちのどの場面ですか。(マルは1つだけ)

1. お祭りや催しごとへの参加 5.6%
2. 学生生活 13.0%
3. 職場関係 45.2%
4. 親族からの紹介 1.9%
5. 近所の方からの紹介 1.2%
6. フェイスブックやツイッターなどでの交流 1.5%
7. この地域には出会いの場がない 14.9%
8. その他 7.1%

「その他」は何か具体的に教えてください

Q17. あなたは、女性は出産した後も働いたほうがよいと思いますか。子育てに専念したほうがよいと思いますか。

1. 出産後も働いたほうがよい 47.1%
2. 子育てに専念したほうがよい 35.6%
3. その他 14.6%

Q18. あなたは、男性は子育てのために育児休暇をとったほうがよいと思いますか。仕事に専念したほうがよいと思いますか。

1. 育児休暇をとったほうがよい 53.3%
2. 仕事に専念したほうがよい 32.5%
3. その他 11.5%

Q19. 子どもを産み育てる意欲を高めるためには、どのような対策が効果的だと思いますか。あなたが、とくに効果があると思うものを3つまで選んでください。

1. 出産費用の給付 43.3%
2. 不妊治療費用に対する助成 12.1%
3. 2人目の子どもの学費・保険料など半額給付 28.8%
4. 3人目の子どもの学費・保険料など全額給付 15.2%
5. 3人以上子どもがいれば課税を大幅減額 22.6%
6. 育児支援ヘルパー利用の無料化 14.2%
7. 地域や職場などでの保育施設の増設 37.2%
8. 育児休業中の給与保証 27.2%
9. 育児休業取得後の正常な職場復帰の保障 35.9%
10. 子ども中心の祭りや催しごとを増やす 0.9%
11. 親子で楽しめる施設を増やす 12.1%
12. 子どもの学力を伸ばせる施設を増やす 4.3%
13. 子どもの運動能力を伸ばせる施設を増やす 4.3%

Q20. あなたが、最寄り駅やスーパー、病院や福祉施設などへ、おもに何を利用して移動しているか教えてください。(A~Dに、それぞれ1つずつマルを付ける)

A 最寄りの駅までは、おもに何を利用していますか。

1	2	3	4	5	6	7
歩いて	自転車	自家用車	バス	タクシー	知人の車	その他
20.7%	8.0%	58.5%	8.0%	2.2%	1%	0.3%

(回答無し)

B 食材や日用品売り場までは、おもに何を利用していますか

1	2	3	4	5	6	7
歩いて	自転車	自家用車	バス	タクシー	電車	その他
7.1%	9.3%	76.2%	2.5%	1.2%	0.9%	0.3%

C 医療施設までは、おもに何を利用していますか

1	2	3	4	5	6	7
歩いて	自転車	自家用車	バス	タクシー	電車	その他
4.6%	7.1%	77.1%	2.8%	3.1%	1.5%	0.6%

D 福祉施設までは、おもに何を利用していますか

1	2	3	4	5	6	7
歩いて	自転車	自家用車	バス	タクシー	電車	その他
2.5%	5.3%	71.8%	2.2%	1.9%	1.2%	4.6%

Q21. あなたは、外出するときバスをどの程度利用したいですか。

1. 大いに利用したい 6.8%
2. ある程度利用したい 21.1%
3. あまり利用したくない 31.3%
4. まったく利用したくない 31.9%
5. その他 3.7%

次のページへ進んでください

次のページへ進んでください

3あるいは4と答えの方への質問

Q21A. 外出するときバスを利用したくないと思うのは、どうしてですか。あてはまるものをすべて選んで○を付けてください。

1. バスの本数が少ない 43.1%
2. バスの路線がない 25.0%
3. 料金が安い 14.7%
4. 自分の車で行ける 68.6%
5. 家族や近所の人で車で行ける 8.8%
6. ほとんど外出しない 2.5%
7. 外出先は歩いて行けるなど近いところばかり 3.4%
8. その他 4.4%

次のページに進んでください

◆最後に、今回の調査結果を統計的に処理するために、いくつかおうかがいします。

F 1. あなたは男性ですか、女性ですか。

1. 男性 48.0% 2. 女性 51.4%

F 2. あなたのお年は満でおいくつですか。年齢をお書きください。

	(20代) 4.0%	(30代) 10.5%
	(40代) 10.5%	(50代) 22.0%
	(60代) 27.6%	(70代) 14.9%
	(80歳以上) 9.3%	
	歳	

F 3. あなたが最後に在籍した（または現在在籍している）学校を選んでください。

1. 中学校（旧制高等小含む） 15.2%
2. 高校（旧制中学含む） 43.3%
3. 高専・短大・専修学校 17.3%
4. 大学（旧制高専含む） 18.9%
5. 大学院（修士・博士） 2.2%
6. その他 1.9%

F 4. あなたの職業は何ですか。次の中から一つ選んでください。

1. 経営者、役員、管理職 12.1%
2. 正社員、正職員 22.6%
3. 派遣社員 0.9%
4. パート、アルバイト、
契約、臨時、嘱託 21.7%
5. 専業主婦（夫） 18.3%
6. 学生 0.3%
7. 仕事をしていない 19.5%

(F4A)

1～4を選んだ方
この1週間あたりの労働時間を教えてください。
1週間合わせるとおおよそ

20時間>	7.6%
20～40時間>	22.7%
40～60時間>	50.3%
60～80時間>	6.5%
	時間

左下のF5に進んでください

F 5. 現在のお住まいは、次のうちどれですか。

1. 持ち家（一戸建て） 85.1%
2. 持ち家（マンションなどの集合住宅） 5.0%
3. 賃貸住宅（一戸建て） 2.8%
4. 賃貸住宅（マンション、アパートなどの集合住宅） 2.2%
5. 社宅・寮 ー%（回答無）
6. その他 1.5%

F 6. あなたのお宅の、年収を教えてください。

1. 200万円未満 18.0%
2. 200万円以上、300万円未満 22.0%
3. 300万円以上、500万円未満 28.8%
4. 500万円以上、700万円未満 12.1%
5. 700万円以上、1000万円未満 8.0%
6. 1000万円以上 3.7%

F 7. あなたは、結婚されていますか。

1. 結婚している 68.4%
2. 結婚したが、死別・離婚した 11.5%
3. まだ結婚していない 17.0%

結婚したことのある方への質問

F 7 A. あなたが最初に結婚されたのは、何歳のときでしたか。

	(10代) 1.9%	(20代前半) 34.9%
	(20代後半) 46.9%	(30代) 14.0%
	(40代以上) 0.8%	
	歳	

F 7 B. 恋愛結婚でしたか、見合い結婚でしたか。

1. 恋愛結婚 69.0% 2. 見合い結婚 28.7%

3を選んだ方への質問

F 7 C. 結婚されていないのは、おもにどのような理由からですか。

1. 結婚生活に十分な年収ではない 25.5%
2. 出会いの場や機会が少ない 34.5%
3. 結婚する年齢ではない 3.6%
4. 好きだった人が忘れられない 1.8%
5. 親が反対している 1.8%
6. 結婚するつもりはない 20.0%

続けてF8にお答えください

F 8. あなたにはお子さんが何人いますか。

1	2	3	4	5
いない	1人	2人	3人	4人以上
19.8%	14.6%	36.8%	19.8%	1.5%

お子さんがいる方は下の質問にお答えください

F 8 A. あなたのお子様の年齢と小・中学生、高校、大学生がいれば通学時間も教えてください。

お子様(年齢順)	満年齢	通学時間(分)
1番目のお子様		
2番目のお子様		
3番目のお子様		
4番目のお子様		
5番目のお子様		

続けて 下の質問もお答えください

F 9. あなたのお住いの家族構成は、次のうちの形に一番近いですか。

1. 単身 8.4%
2. 夫婦のみ 30.0%
3. 二世帯同居（親と子ども） 39.3%
4. 三世帯同居（親と子どもと孫） 8.7%
5. その他 8.0%

ご協力ありがとうございます。

この回答用紙は、返信用封筒(切手が貼られているもの)に入れ、**12月19日(金)までにご返送ください。**
早めにご投函いただければ幸いです。
この調査について、ご意見やご要望があれば、下の余白にご記入ください。

埼玉大学・埼玉県共同研究プロジェクト
「人口減少に対応した地域づくり」(意識調査)

整理番号 (鳩山町)
(354/500) 71%

突然の調査のお願いになり、恐縮に存じます。

埼玉大学社会調査研究センターと埼玉県は、少子高齢化社会の加速による人口急減に対応するため、12月に鳩山町内のみなさまを対象に調査を実施します。人口減少と地方の再生のための政策を立案するために、必要なデータをこの調査で集めることが目的です。

鳩山町内の選挙人名簿から、無作為に500人の方を抽出したところ、今回はあなた様にご協力をお願いすることになりました。お答えは、統計的に処理して「〇〇に賛成△△%」といった形で分析しますので、お名前や具体的な回答内容が外部に出ることはありません。

この調査には、ご本人がお答えください。右上にある「整理番号」は、調査票が返送されたかどうかの確認や集計を匿名で行うためのものです。お名前を書き添えていただく必要はありません。

誠に恐縮ですが、12月19日(金)までに、同封の封筒にてご返送くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ先 → 埼玉大学社会調査研究センター(担当・菱山=ひしやま)
Tel & Fax : 048-858-3120 e-mail: ssrc@gr.saitama-u.ac.jp

[2014年12月]

ご回答は、特に指定がなければ、選択肢番号を1つだけ選んでマル(O)をつけてください。

Q1. 将来、日本の人口が減少し続けるといわれていることについて、あなたは、楽観していますか。それとも悲観していますか。

1	2	3	4	5	6
かなり楽観	やや楽観	いどちえならとも	やや悲観	かなり悲観	その他
1.4%	6.8%	14.7%	39.5%	37.3%	0.3%

Q2. では、あなたがいま住んでいる地域の将来については、どうですか。

1	2	3	4	5	6
かなり楽観	やや楽観	いどちえならとも	やや悲観	かなり悲観	その他
0.6%	5.1%	13.0%	33.3%	47.7%	0.3%

Q3. 国は、地方の活性化を目指す「地方創生」を重要政策に掲げています。あなたは、こうした国の政策にどの程度期待していますか。

1. 大いに期待している	8.5%
2. ある程度期待している	35.3%
3. あまり期待していない	43.5%
4. まったく期待していない	12.1%
5. その他	-% (回答無)

Q4. 地方の活性化のためには、国と地方自治体と住民および企業の協力が必要ですが、あなたは、これらのどこが一番問題意識をもってリーダーシップを発揮すべきだと思いますか。(マルは1つだけ付ける)

1. 国がリーダーシップをとる	18.6%
2. 地方の自治体がリーダーシップをとる	61.0%
3. 住民がリーダーシップをとる	11.3%
4. 企業がリーダーシップをとる	5.1%
5. その他	2.5%

Q5. あなたのお住いの地域の人口が減り続けるのを抑えるためには、どのような対策が一番重要だと思いますか。(マルは1つだけ付ける)

1. 産業を誘致して雇用を増やす	29.4%
2. 住宅の整備をして移住を増やす	5.9%
3. 大学や研究機関と協業する学園都市を目指す	3.7%
4. 公共交通機関の整備充実を目指す	18.6%
5. 機能を集中させた「小さな町」で効率化させる	7.6%
6. 地元の産業を見直し復興させる	6.2%
7. 農業の企業化を進め若手の職場を増やす	6.5%
8. 歴史・文化などの魅力を宣伝する	1.1%
9. 近隣の自治体と協力して地域の魅力を高める	13.3%
10. わからない	5.9%

次のページの Q6 に進んでください



Q6. あなたのふだんの生活の中での行動や考えについて、次のそれぞれについてどの程度あてはまるかお答えください。(A~Kについて、それぞれ1つずつマルを付ける)

A 私はいま「幸せ」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
38.4%	38.4%	10.5%	9.9%	1.1%

B 私はいま「健康」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
35.0%	32.5%	13.0%	13.8%	4.0%

C 私はいまの生活に「満足」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
23.4%	35.9%	21.2%	12.4%	4.8%

D 私はいまの仕事や役割に「満足」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
21.2%	33.6%	20.9%	13.6%	5.6%

E 私はいまの住まいに「満足」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
34.5%	33.3%	16.1%	10.7%	3.7%

F 私はいまの近所づきあいに「満足」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
21.8%	34.5%	28.2%	8.8%	5.1%

G 私は住んでいる地域の物価に「満足」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
10.5%	22.9%	37.3%	21.5%	5.9%

H 私は住んでいる地域の自然環境に「満足」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
47.7%	35.3%	10.5%	3.1%	2.3%

I 私は住んでいる地域の交通事情に「満足」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
5.9%	15.8%	14.4%	32.8%	29.9%

J 私は住んでいる地域の医療施設に「満足」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
8.5%	20.9%	20.3%	24.6%	24.0%

K 私は住んでいる地域の祭りや催しごとの数や内容に「満足」である。

1	2	3	4	5
そう思う	少しは そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない
8.2%	15.0%	41.2%	22.9%	11.3%

Q7. あなたは、次の事柄について左側の項目と右側の項目のどちらをより重視したいですか。(A~Iについて、それぞれ1つずつマルを付ける)

A 「仕事」と「余暇」では、どちらを重視したいですか。

1	2	3	4	5
仕事	どちらかと いえば仕事	どちらでも ない	どちらかと いえば余暇	余暇
4.5%	14.7%	28.2%	32.8%	16.4%

B 「物質的な豊かさ」と「精神的な豊かさ」では、どちらを重視したいですか。

1	2	3	4	5
物質的な 豊かさ	どちらかと いえば物質 的な豊かさ	どちらでも ない	どちらかと いえば精神 的な豊かさ	精神的な 豊かさ
3.1%	11.9%	24.9%	39.3%	18.4%

C 「仕事」と「子育て」では、どちらを重視したいですか。

1	2	3	4	5
仕事	どちらかと いえば仕事	どちらでも ない	どちらかと いえば子育て	子育て
3.4%	9.6%	38.7%	28.8%	15.8%

D 「都会暮らし」と「田舎暮らし」では、どちらを重視したいですか。

1	2	3	4	5
都会 暮らし	どちらかと いえば都会 暮らし	どちらでも ない	どちらかと いえば田舎 暮らし	田舎 暮らし
4.0%	15.3%	24.3%	37.3%	16.7%

E 「日本人だけ」と「外国人も一緒に」暮らす社会では、どちらを重視したいですか。

1	2	3	4	5
日本人 だけ	どちらかと いえば日本 人だけ	どちらでも ない	どちらかと いえば外国 人も一緒	外国人 も一緒
8.8%	20.1%	38.4%	20.3%	9.6%

F 一緒に仕事をするなら「男性」と「女性」の、どちらを重視したいですか。

1	2	3	4	5
男性	どちらかと いえば男性	どちらでも ない	どちらかと いえば女性	女性
5.4%	14.4%	59.6%	13.8%	4.0%

G 結婚をするなら「恋愛」と「見合い」では、どちらを重視したいですか。

1	2	3	4	5
恋愛	どちらかと いえば恋愛	どちらでも ない	どちらかと いえば見合い	見合い
22.3%	31.9%	38.4%	2.0%	1.1%

H 仕事は夫婦どちらか一方の「片働き」と夫婦「共働き」とでは、どちらを重視したいですか。

1	2	3	4	5
片働き	どちらかと いえば片働き	どちらでも ない	どちらかと いえば共働き	共働き
10.2%	18.6%	35.0%	25.4%	7.6%

I 多くの家事をこなすには、「妻」と「夫」のどちらの働きを重視したいですか。

1	2	3	4	5
妻	どちらかと いえば妻	どちらでも ない	どちらかと いえば夫	夫
11.3%	37.6%	38.7%	5.4%	4.2%

Q8. あなたの出身地はどこですか。1つだけ選んで番号に○をつけてください。

01. 北海道 02. 青森 03. 岩手 04. 宮城 05. 秋田 06. 山形 07. 福島
 08. 茨城 09. 栃木 10. 群馬 11. 埼玉 12. 千葉 13. 東京 14. 神奈川
 15. 新潟 16. 富山 17. 石川 18. 福井 19. 山梨 20. 長野 21. 岐阜
 22. 静岡 23. 愛知 24. 三重 25. 滋賀 26. 京都 27. 大阪 28. 兵庫
 29. 奈良 30. 和歌山 31. 鳥取 32. 島根 33. 岡山 34. 広島 35. 山口
 36. 徳島 37. 香川 38. 愛媛 39. 高知 40. 福岡 41. 佐賀 42. 長崎
 43. 熊本 44. 大分 45. 宮崎 46. 鹿児島 47. 沖縄

埼玉 45.8% 茨城 1.4% 栃木 1.7% 群馬 1.7%
 千葉 2.0% 東京 16.4% 神奈川 2.5%

北海道・東北・甲信越・北陸 14.7%
 東海・関西 5.9%
 中国・四国・九州・沖縄 6.5%

Q9. あなたは、いまの場所に住み続けたいですか。

1. いまの場所に住み続けたい 69.5%
 2. 住み続けるか転居するか迷っている 11.9%
 3. ほかの場所に転居したい 11.0%
 4. その他 4.5%

4を選んだ方は右上のQ10へ進む

「1. いまの場所に住み続けたい」方への質問

Q9A. どうしてそう思いますか。あなたのお気持ちに一番近いものを3つまで選んでください。

- | | | | | | | | | | |
|------------|---------|---------|---------------|------------|---------|---------------|-----------|-----------|--------|
| 1 家族や親戚がいる | 2 友人がいる | 3 仕事がある | 4 職場や学校が近くにある | 5 病院が近くにある | 6 治安がよい | 7 地域の人との交流がある | 8 交通の便がよい | 9 自然環境がよい | 10 その他 |
| 37.4% | 20.3% | 11.4% | 5.7% | 7.7% | 22.8% | 19.5% | 3.3% | 67.9% | 8.1% |

「その他」は何か具体的に教えてください

マルを付いたら右上のQ10へ進んでください

2あるいは3と答えた方への質問

Q9B. どうしてそう思いますか。あなたのお気持ちに一番近いものを3つまで選んでください。

- | | | | | | | | | | |
|-------------|----------|---------|---------------|------------|---------|---------------|-----------|-----------|--------|
| 1 家族や親戚がいない | 2 友人がいない | 3 仕事がない | 4 職場や学校が遠くにある | 5 病院が遠くにある | 6 治安が悪い | 7 地域の人との交流がない | 8 交通の便が悪い | 9 自然環境が悪い | 10 その他 |
| 8.6% | 6.2% | 17.3% | 16.0% | -(回答無) | 32.1% | 14.8% | 70.4% | 2.5% | 25.9% |

「その他」は何か具体的に教えてください

マルを付いたら右上のQ10へ進んでください

Q10. ところで、あなたは、いまの場所に住み続けて何年目ですか。

1. 2年未満 1.1%
 2. 2年以上～5年未満 0.8%
 3. 5年以上～10年未満 4.8%
 4. 10年以上～20年未満 14.4%
 5. 20年以上～30年未満 28.2%
 6. 30年以上～40年未満 30.2%
 7. 40年以上～50年未満 5.9%
 8. 50年以上 11.0%

Q11. あなたは、生まれたときからいまの場所に住み続けていますか、それとも途中でいまの場所に引っ越して来ましたが。

1を選んだ方は次ページへ

1. 生まれたときから今の場所に住み続けている 13.8%
 2. 途中でいまの場所に引っ越して来た 81.1%

「2. 途中で…引っ越して来た」方への質問

Q11A. あなたが、いまの場所に引っ越すことになった理由は何ですか。あてはまるものがあればいくつでもマルを付けてください。

1. 代々の家や墓を守る 4.9%
 2. 親の介護 5.9%
 3. 転職や人事異動 9.1%
 4. 出産や子育て 21.3%
 5. 進学や就職 2.1%
 6. 職場が近い 6.6%
 7. 学校が近い 6.6%
 8. 病院が近い 0.7%
 9. 買い物が便利 2.4%
 10. 交通の便がよい 1.7%
 11. 保育・教育サービスがよい 0.3%
 12. 福祉・介護サービスがよい 1.4%
 13. 治安がよい 16.0%
 14. 防災によい 5.9%
 15. 歴史・文化・芸術施設がある 0.3%
 16. 近所付き合いがしやすい 4.2%
 17. 近所に干渉されない 8.7%
 18. 地域特有の祭りや催しごとがある 1.4%
 19. 大学や企業との交流がある 0.7%
 20. その他 54.0%

続けて下の質問にもお答えください

Q11B. どちらから引っ越して来られましたか。

- ①都道府県名 ②市区町村名

次のページのQ12に進んでください

Q12. お宅にお住まいの方のうち、仕事に就かれているすべて方の通勤手段・通勤時間と職場を教えてください。

続柄 本人,配偶者, 子供,父など	通勤手段 徒歩,自転車, 車,バス, 電車,車	通勤時間 (何分?)	職場のあるところ (例:埼玉県坂戸市)
本人			

Q13. あなたのお住まいの地域では、「男性」は何歳ぐらいで結婚される方が多いですか。あなたの見聞きした範囲でお答えいただければ結構です。

1. 20歳未満 1.7%
2. 20歳以上、25歳未満 1.7%
3. 25歳以上、30歳未満 40.1%
4. 30歳以上、35歳未満 39.0%
5. 35歳以上、40歳未満 5.6%
6. 40歳以上 1.7%

Q14. では、「女性」は何歳ぐらいで結婚される方が多いですか。あなたの見聞きした範囲でお答えいただければ結構です。

1. 20歳未満 1.4%
2. 20歳以上、25歳未満 10.7%
3. 25歳以上、30歳未満 54.0%
4. 30歳以上、35歳未満 21.5%
5. 35歳以上、40歳未満 1.4%
6. 40歳以上 0.6%

Q15. では、あなたの地域では、恋愛結婚される方が多いですか。それとも、見合い結婚される方が多いですか。あなたの見聞きした範囲でお答えいただければ結構です。

1. ほとんど恋愛結婚 26.6%
2. どちらかといえば恋愛結婚が多い 38.1%
3. どちらともいえない 18.1%
4. どちらかといえば見合い結婚が多い 0.6%
5. ほとんど見合い結婚 0.6%
6. その他 5.4%

Q16. あなたが住んでいる地域では、男女が出合う一番のきっかけは次のうちのどの場面ですか。(マルは1つだけ)

1. お祭りや催しごとへの参加 3.1%
2. 学生生活 13.0%
3. 職場関係 40.1%
4. 親族からの紹介 0.6%
5. 近所の方からの紹介 1.0% (回答無)
6. フェイスブックやツイッターなどでの交流 0.6%
7. この地域には出会いの場がない 26.3%
8. その他 5.6%

「その他」は何か具体的に教えてください

Q17. あなたは、女性は出産した後も働いたほうがよいと思いますか。子育てに専念したほうがよいと思いますか。

1. 出産後も働いたほうがよい 42.7%
2. 子育てに専念したほうがよい 39.0%
3. その他 16.1%

Q18. あなたは、男性は子育てのために育児休暇をとったほうがよいと思いますか。仕事に専念したほうがよいと思いますか。

1. 育児休暇をとったほうがよい 52.0%
2. 仕事に専念したほうがよい 33.9%
3. その他 11.3%

Q19. 子どもを産み育てる意欲を高めるためには、どのような対策が効果的だと思いますか。あなたが、とくに効果があると思うものを3つまで選んでください。

1. 出産費用の給付 45.5%
2. 不妊治療費用に対する助成 11.3%
3. 2人目の子どもの学費・保険料など半額給付 29.1%
4. 3人目の子どもの学費・保険料など全額給付 13.3%
5. 3人以上子どもがいれば課税を大幅減額 22.3%
6. 育児支援ヘルパー利用の無料化 20.3%
7. 地域や職場などでの保育施設の増設 41.0%
8. 育児休業中の給与保証 20.6%
9. 育児休業取得後の正常な職場復帰の保障 39.3%
10. 子ども中心の祭りや催しごとを増やす 2.8%
11. 親子で楽しめる施設を増やす 11.6%
12. 子どもの学力を伸ばせる施設を増やす 4.0%
13. 子どもの運動能力を伸ばせる施設を増やす 6.8%

Q 2 0. あなたが、最寄り駅やスーパー、病院や福祉施設などへ、おもに何を利用して移動しているか教えてください。(A~Dに、それぞれ1ずつマルを付ける)

A 最寄りの駅までは、おもに何を利用していますか。

1 歩いて	2 自転車	3 自家用車	4 バス	5 タクシー	6 知人の車	7 その他
0.8%	2.0%	67.8%	25.4%	0.3%	0.3%	1.1%

B 食材や日用品売り場までは、おもに何を利用していますか

1 歩いて	2 自転車	3 自家用車	4 バス	5 タクシー	6 電車	7 その他
14.7%	4.2%	74.6%	2.3%	—%	—%	2.0%

(回答無) (回答無)

C 医療施設までは、おもに何を利用していますか

1 歩いて	2 自転車	3 自家用車	4 バス	5 タクシー	6 電車	7 その他
5.9%	2.3%	76.3%	5.4%	2.5%	2.3%	1.1%

D 福祉施設までは、おもに何を利用していますか

1 歩いて	2 自転車	3 自家用車	4 バス	5 タクシー	6 電車	7 その他
3.1%	2.3%	69.5%	7.3%	1.7%	—%	6.2%

(回答無)

Q 2 1. あなたが住んでいる地域で、これはよいと思う祭りや催しごとがあれば教えてください。

いくつでもお書きください。

Q 2 2. 多くの人に、あなたが住んでいる地域に引っ越して来たいと思わせるためには、どのような対策が必要でしょうか。良いアイデアがあれば教えてください。

ご自由にお書きください。

次のページに進んでください



◆最後に、今回の調査結果を統計的に処理するために、いくつかおうかがいします。

F 1. あなたは男性ですか、女性ですか。

1. 男性 41.5% 2. 女性 56.2%

F 2. あなたのお年は満でおいくつですか。年齢をお書きください。

	(20代) 4.8%	(30代) 5.6%
	歳 (40代) 11.0%	(50代) 15.3%
	(60代) 29.9%	(70代) 20.9%
	(80歳以上) 10.2%	

F 3. あなたが最後に在籍した（または現在在籍している）学校を選んでください。

1. 中学校（旧制高等小含む） 10.7%
2. 高校（旧制中学含む） 36.2%
3. 高専・短大・専修学校 19.2%
4. 大学（旧制高専含む） 25.4%
5. 大学院（修士・博士） 2.3%
6. その他 1.7%

F 4. あなたの職業は何ですか。次の中から一つ選んでください。

1. 経営者、役員、管理職 8.2%
2. 正社員、正職員 14.4%
3. 派遣社員 0.8%
4. パート、アルバイト、
契約、臨時、嘱託 20.3%
5. 専業主婦（夫） 23.4%
6. 学生 1.4%
7. 仕事をしていない 24.9%

(F4A)

1~4を選んだ方
この1週間あたりの労働時間を教えてください。
1週間合わせるとおおよそ

20時間>	10.3%
20~40時間>	30.3%
40~60時間>	34.8%
60~80時間>	7.7%
80時間<	1.3%

時間

左下のF5に進んでください

F 5. 現在のお住まいは、次のうちどれですか。

1. 持ち家（一戸建て） 93.5%
2. 持ち家（マンションなどの集合住宅） ー%（回答無）
3. 賃貸住宅（一戸建て） 0.3%
4. 賃貸住宅（マンション、アパートなどの集合住宅） 0.3%
5. 社宅・寮 ー%（回答無）
6. その他 1.1%

F 6. あなたのお宅の、年収を教えてください。

1. 200万円未満 17.8%
2. 200万円以上、300万円未満 22.0%
3. 300万円以上、500万円未満 22.6%
4. 500万円以上、700万円未満 11.0%
5. 700万円以上、1000万円未満 8.8%
6. 1000万円以上 5.6%

F 7. あなたは、結婚されていますか。

1. 結婚している 70.9%
2. 結婚したが、死別・離婚した 12.4%
3. まだ結婚していない 11.6%

結婚したことのある方への質問

F 7 A. あなたが最初に結婚されたのは、何歳のときでしたか。

	(10代) 0.7%	(20代前半) 37.6%
	歳 (20代後半) 44.7%	(30代) 15.6%
	(40代以上) 0.3%	

F 7 B. 恋愛結婚でしたか、見合い結婚でしたか。

1. 恋愛結婚 69.2% 2. 見合い結婚 27.5%

3を選んだ方への質問

F 7 C. 結婚されていないのは、おもにどのような理由からですか。

1. 結婚生活に十分な年取ではない 22.0%
2. 出会いの場や機会が少ない 29.3%
3. 結婚する年齢ではない 19.5%
4. 好きだった人が忘れられない ー%（回答無）
5. 親が反対している ー%（回答無）
6. 結婚するつもりはない 14.6%

続けてF8にお答えください

F 8. あなたにはお子さんが何人いますか。

1	2	3	4	5
いない	1人	2人	3人	4人以上
14.1%	13.6%	47.5%	15.0%	1.7%

お子さんがいる方は下の質問にお答えください

F 8 A. あなたのお子様の年齢と小・中学生、高校、大学生がいれば通学時間も教えてください。

お子様(年齢順)	満年齢	通学時間(分)
1番目のお子様		
2番目のお子様		
3番目のお子様		
4番目のお子様		
5番目のお子様		

続けて 下の質問もお答えください

F 9. あなたのお住いの家族構成は、次のうちの形に一番近いですか。

1. 単身 6.2%
2. 夫婦のみ 34.2%
3. 二世帯同居（親と子ども） 37.0%
4. 三世帯同居（親と子どもと孫） 10.7%
5. その他 4.2%

ご協力ありがとうございます。

この回答用紙は、返信用封筒(切手が貼られているもの)に入れ、**12月19日(金)までにご返送ください。**
早めにご投函いただければ幸いです。
この調査について、ご意見やご要望があれば、下の余白にご記入ください。